

＜清そう工場の係の人の話＞

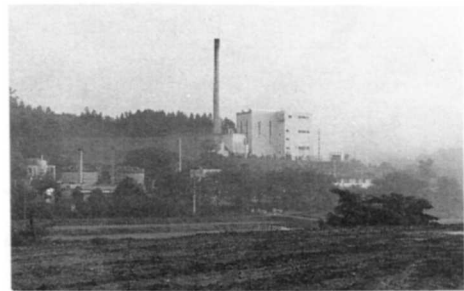
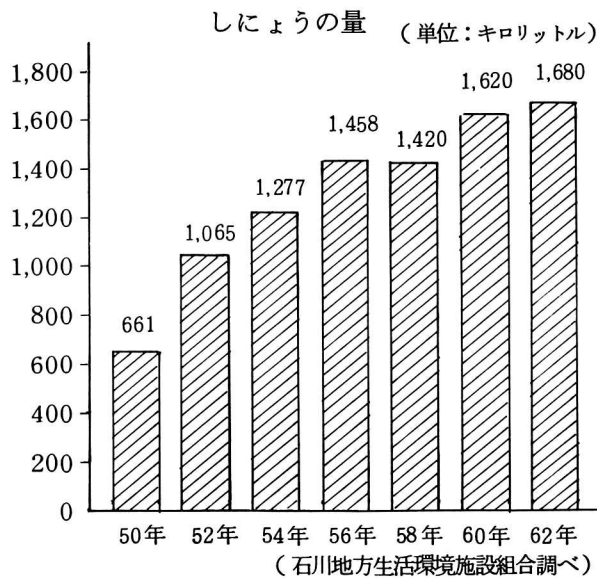
毎年、ごみの量もふえてきました。^{しせつ組みあ}施設組合では、工場や機かいを新しいものにかえたりして、こまらないようにしてきました。今、使っている機かいは、昭和70年ごろまでは、ごみがふえつづけてもしょりできるようにしてあります。

しかし、近ごろこまることは、ごみといっしょにもえないものまで出すので、もやしている時に、機かいの間にはさまってこしょうしたり、ガスポンペなどがばくはつして、仕事をしている人がけがをしたりすることがあることです。

工場を作るために、みなさんの大切な税金^{ぜいきん}が使われます。こしょうしたりするとお金もかかりますし、ごみがたまってしまいます。みなさんの一人一人がごみの出し方の注意をよくまもって出してほしいと思います。

④ しにょうのしまつ

トイレのしにょうは、清そう工場のとなりにあるしょり場まではこんでしょりされています。



しにょうしょり場と清そう工場

玉川村でも新しく造られる家では、水洗^{すいせん}トイレにすることが多くなってきていますが、全体としてみるとまだ少ないようです。

